

審 議 結 果

会 議 名	第1回川口市男女共同参画推進委員会
開 催 日 時	令和8年7月10日（金）14時00分～15時00分
開 催 場 所	第一本庁舎5階 501大会議室
出 席 者 （委員長に◎、副委員長に○）	◎鶴貝委員長、橋本委員、岩田委員、山田委員、小柳委員、 石川委員、日下部委員、小松委員 協働推進課事務局：竹内課長、岡田課長補佐、逸見主査
議 題	1 開 会 2 委嘱書交付 3 市長あいさつ 4 自己紹介 5 正副委員長の選任について 6 議 事 （1）審議事項 ア 男女共同参画に関する市民意識調査について （2）報告事項 ア 令和8年度行政委員会・附属機関等の女性登用状況について （3）その他 7 閉 会
公開／非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由	—
傍 聴 人 の 数	なし
会 議 資 料	会議次第 資料No.1 川口市男女共同参画推進委員会委員名簿 資料No.2 川口市男女共同参画推進条例 資料No.3 川口市男女共同参画推進委員会規則 資料No.4 市民意識調査について 資料No.5 令和8年度行政委員会・附属機関等の女性登用状況 別添資料 第3次川口市男女共同参画計画 第2次川口市DV対策基本計画及び困難な問題を抱える女性への支援計画
審 議 経 過	別紙のとおり
そ の 他	—

審議経過（要点筆記）

第1回委員会

1 開会

- ・資料確認

2 委嘱書交付

3 市長あいさつ

4 自己紹介

- ・委員の自己紹介及び事務局職員紹介

5 正副委員長の選任について

- ・事務局からの提案及び委員の賛成多数により、鶴貝委員が委員長に就任。
- ・事務局からの提案及び委員の賛成多数により、井上委員が副委員長に就任。

（事務局）

委員10名のうち8名が出席していることから、川口市男女共同参画推進委員会規則第3条第2項により、本日の会議が成立することを説明した。

6 議 事

（1）審議事項

ア 男女共同参画に関する市民意識調査について

（事務局）

第3次川口市男女共同参画計画は、計画期間を令和5年度から令和14年度までの10カ年計画としているが、男女共同参画に関する国や県の取り組み、動向、社会状況等を踏まえ、概ね5年ごと、本計画だと、令和10年度に見直すこととしている。

また、「第2次川口市DV対策基本計画及び困難な問題を抱える女性への支援計画」を「第3次川口市男女共同参画計画」に統合し、「第3次川口市男女共同参画計画（改訂）」とすることから、今年度に、市民意識調査を実施する。

調査の目的は、市民の男女共同参画に関する意識や計画に定めている推進指標の進捗状況を把握することにより、第3次計画改訂の基礎資料にするとともに、今後の男女共同参画の施策の推進に活用するものである。

調査時期については、令和8年9月上旬を想定しており、およそ3週間ほど記入期間を設け回収、その後、集計及び分析を行い、12月頃までに結果を取りまとめたいと考えている。

調査対象者は、市内在住の満18歳以上の男女各2,000人の合計4,000人で、住民基本台帳から無作為に抽出し、調査票は郵送で配布し、郵送回収またはインターネット回答とする。

調査項目については、第7期の委員会で承認をいただいた内容に基づき、現状に合わせ修正した。

【質疑応答】

特になし

(2) 報告事項

ア 令和8年度行政委員会・附属機関等の女性登用状況について

(事務局)

第6次川口市総合計画では、互いに尊重・理解し合う環境づくりの目標指標として、各種審議会・委員会への女性登用率の目標を35%としている。

また、第3次川口市男女共同参画計画でも、同様に目標値を定めている。

令和8年4月1日現在の審議会数は、6つの行政委員会と177の附属機関等を合わせ、183の審議会数となっている。

女性委員比率は29.1%で、前年が28.3%であったので、0.8ポイント増加している。

ゼロ

女性の委員が0の委員会等については、行政委員会では、選挙管理委員会、監査委員の2つと、附属機関等では川口市公務災害補償等審査会を始めとする7の委員会や協議会等があった。

女性登用率が35%以上の審議会数は58あり、20%以上35%未満の審議会数が78、10%以上20%未満の審議会数が31、10%未満が16であった。

目標値としている35%には至っていない状況ではあるが、今後も、関係部局と連携し、男女共同参画の推進、女性の登用率の向上を進めていきたいと考えている。

【質疑応答】

●委員からの質問

平成24年から令和8年までの16年で5.4%の伸び率。目標値35%まで伸ばすには20年ほどかかる計算になるが、もっと早く達成できないか。

→事務局から回答

昨年度、県内で女性登用率の高い久喜市に視察に行った。そのアドバイスをもとに35%を達成できている委員会・附属機関には達成できた理由を20%以下の会には達成できない理由をアンケート実施し部長名で理由書を提出してもらう予定でいる。また35%達成できた理由を周知し全体の底上げをしていきたいと考えている。

●委員からの質問

目標値が35%に設定しているのはなぜか。男女共同というのであれば50%ずつでもよいのではないか。

→事務局から回答

目標値設定当時の県の目標値（42％）を参考に設定している。

→委員長（議長）からの意見

高い目標率をかかげ実態とかけはなれた数値にしてしまうと各機関が数値達成を諦めてしまう場合もある。今後高まってくる数値にあわせ、目標値も引き上げてはどうか。

→事務局からの回答

5 か年計画の数値なのでそこを区切りとしてあらためて目標値を設定していく。また、各部へのアンケートや登用率に関する周知をすることで目標値も含め女性登用率をあげていきたい。

●委員からの質問

近隣地域と比べ、川口の数値は高いのか低いのか。鳩ヶ谷地区は女性が多いイメージ。そのほかの川口市内では男性が強いイメージ。充て職などもあるのかもしれない。

→事務局からの回答

数値は近隣に比べ低めである。今後も女性に委員等お願いできないか進めていきたい。

→委員からの意見

川口は鋳物のまちであったためか男性社会であった。今では女性が会社を継ぐこともめずらしくなく女性の社会進出は進んできていると感じている。

→事務局からの回答

久喜市も当初は川口市と同じような数値であったが、市長や各部長から登用率の目標値がクリアできない理由を提出いただくことにより、女性の登用が増えたということをきいている。当市もそれにならい各委員会や附属機関に女性登用の意識をもってもらおうようすすめていきたいと考えている。

●委員からの質問

女性登用率が20％以下なのは人手が足りないのか、女性がおらず、充て職になってしまっているのか。

→事務局から回答

その理由を含め各部に理由書を提出いただき実態の把握と分析をして今後に活かしていきたい。

(3) その他

(事務局)

次回開催・資料配布方法等について説明

【その他】

◇各委員からの意見

- ・今後2年間ではあるが、いろいろと男女共同参画について幅広く学んでいきたい。
- ・男女雇用機会均等法ができ40年。当初から働く女性は60歳を超えている。それでもなお女性管理職が1割程度というのは低いと感じている。
- ・男性の働き方がまだまだ変わってきていない。女性に男性と同じ働き方を求められているのではハードルが高く、管理職にもなりづらいのではないかと。男性も女性も働きやすい社会が望ましい。
- ・最近、父親が赤ちゃんを抱く姿を見かける。良い顔をしていて、父性が出てきているのではないかと。父親が育休を取得し会社復帰していくことで、仕事も定時退社できる社会へ移行できるとよいと思っている。
- ・昭和世代はまだ子育てのためには女性が休暇をとるという考えが残っている。令和世代では共働きが多く、父親が子育てのために休むこともよくある。変わってきているなと感じる。
- ・男女共修が根付き、男子が家庭科を学ぶことに違和感はなくなった。そういった教育があることによって意識改革され、その子どもたちが家庭をもち子育てにかかわることができるようになったのではないかと。
- ・もっと川口の男女共同参画の現状についてアピールしても良いのではないかと。みんなに知ってもらわないと変わっていかない。

7. 閉 会

会議の内容は、以上のとおりです。

令和8年8月4日

川口市男女共同参画推進委員会委員長

鶴貝 真由美

川口市男女共同参画推進委員会委員

橋本 由利子
